



片山治之 はるゆき展

2013 11/7 ~ /12

11:00 ~ 19:00 (最終日 16:00 迄)



片山先生の作品は墨によって描かれています。そのため色彩に左右されることなく、花や実の形の美しさを感じることが出来るように思います。そして細部まで細かく書き込まれるので、花の持つ繊細な美しさがとてもよく表現されていました。

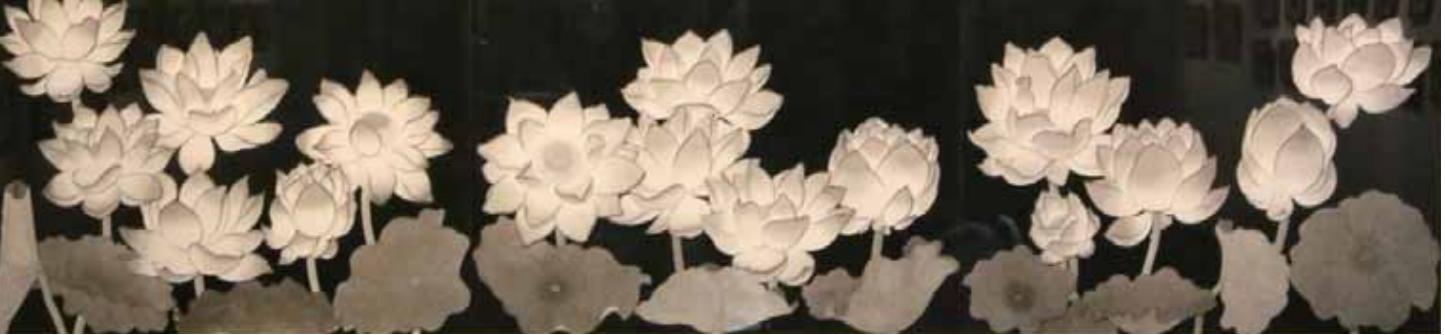
展覧会を見に来た方たちは、作品をじっくりと見ていかれる方が多く、片山先生の描く絵の世界に引き込まれてゐるようでした。

会場には片山先生が描いた、野の花を題材にした作品が規則正しく展示されており、まるで美術館のような雰囲気となっていました。今回の展示では、朝日新聞にも掲載されている、季節の花を描いた小品が20点、中くらいの作品が15点、大作が1点の計36点の作品が飾られていました。

その中でも目を引いたのは、今回初挑戦で描かれたという大作で、今までにない迫力があり、その上で他の作品と同じく細かなところまで丁寧に描かれているので、ダイナミックさと繊細さを持ち合わせた作品になっていました。

今回の展覧会は片山治之さんによる

絵画の展覧会です。毎年十一月の秋の深まる頃に展覧会を開催されています。



蓮の花



ナノハナ



イノバラ



クマガイソウ



オオハンゴンソウ



フウセンカズラ



ツルリンドウの実



ササユリ



ミズバショウ



コスモス